

広報誌

せいりょう

医療法人社団 誠療会 成尾整形外科病院



新年のごあいさつ



理事長
成尾 政一郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

不安定な世界情勢の中、元旦午後4時の能登半島で震度7の地震が起きました。被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます。余震が続く日々に被災者の皆様の不安は如何ばかりかと拝察し心が痛みます。1日も早い能登半島の復興を祈念致します。

昨年5月より新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、当院は対面形式で職員総会や市民公開講座、忘年会を開催しました。ご参加頂いた多くの方々からお喜びのお言葉を頂きました。また学会や研修会なども現地参加が可能となり直接顔を合わせる機会も増え、コロナ前の日常に戻ったことを嬉しく思います。コロナにより汎用化されたオンライン会議やWEB研修など利便性の良いツールは、現在も各種業務・研修受講に役立っています。

2024年は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬のトリプル改定の年です。医師の働き方改革や医療DXの推進、医療介護の連携などが当院の課題です。少子高齢化が進み患者様が病院を選ぶ時代になりましたが、患者様に安心して療養いただけるよう、地域の医療機関と良好な関係性を築き、今後も選ばれる病院として、また皆様の健康の一助として社会貢献、地域貢献を継続して参ります。

昨年4月熊本大学病院で脊椎脊髄外科専門医として手腕を発揮されていた藤本先生を新院長にお迎えしました。更に麻酔科医を増員し、患者様に「より安心、より安全な医療」を提供できるよう新たな体制を整えました。職員教育はもとより、私たちは先進医療を追求し、従来の治療法はブラッシュアップに努め、質の高い医療に日々精進する所存です。

皆様のご健康とご多幸を祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。

昨年春から当院に就職させて頂き初めての新年を迎えることが出来てとても嬉しく思っています。特に大きな問題もなく仕事が出来ているのは病棟・外来看護師、手術中央材料室、地域連携室、リハビリテーション科、薬剤科、放射線科、医事課、総務課、情報システム課、臨床検査科、栄養科、クラーク室など全スタッフの協力のおかげと思っています。とてもお世話になりました。

当院は脊椎・関節外科専門病院として今後も発展していきたいと考えています。しかし、少子高齢化に伴う人口減少により病院であっても淘汰されていく時代が近づいていると言われていています。患者さんに選ばれる病院になるためには先進医療の導入も大事かもしれませんが、従来の診断学や手術技術をさらに磨いて、安全な医療を提供し続ける事が大事であると思っています。外来や入院している患者さんに対しても誠実な対応を続けて、当院に来て良かったと実感して頂く事が病院継続には必要と考えています。そのためにも職員一同気を配って診療にあたっていく所存です。

未来に向かって当院が羽ばたけていける事と皆様のご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



院長
藤本 徹



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
2024年度は、6年に1度の「診療・介護・障害福祉サービス」の報酬改定が行われる、いわゆる「トリプル改定」の年になります。

トリプル改定にあたり喫緊の課題となっているのが2025年問題、2040年問題です。2025年度には『団塊の世代』がすべて75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護のニーズが急速に増大していきます。

2024年度改定は、2025年を迎える「前年」にあたる重要な改定です。そのため、厚生労働省によりトリプル改定に向けた制度横断的な意見交換会が開かれ、主に以下の内容について審議が行われました。

- 地域包括ケアシステムのさらなる推進のための医療・介護・障害福祉サービスの連携
- 医療・介護DXのさらなる推進
- リハビリテーション・口腔・栄養
- 要介護者等の高齢者に対応した急性期入院医療
- 高齢者施設・障害者施設等における医療
- 認知症
- 人生の最終段階における医療・介護
- 訪問介護

これらは、「地域包括ケアシステム」の実現とさらなる推進に向け、病院や介護施設、居宅サービス、通所サービスなど患者等の療養場所が移ることに伴う情報提供や各関係機関との日頃から顔の見える連携体制の構築が重要な内容になっています。さらに、2025年を過ぎて2040年にかけては15～64歳の生産年齢人口が急激に減少し、2040年には『団塊ジュニア世代』が65歳以上となります。つまり、現役世代人口が減少して医療・介護保険制度の財政が厳しくなるだけでなく、医療・介護の支え手となる人材の確保がより一層難しくなることが予想されます。

当院ではこのような状況に備え、医師を含めた医療従事者の働き方改革、職場風土・環境の整備、業務の効率化、福利厚生の充実、人材育成・能力開発への支援などによる「マンパワーの確保」、情報技術（ICT）やデジタル化推進による「効率的な医療提供体制の構築」に取り組んでまいります。

本年も地域に密着した魅力ある病院づくりを目指してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



事務局長・事務部長
西村 俊也



看護局長・看護部長
辻口 志穂

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「5類感染症」へと変更になり、制限が強いられていた環境から少しずつ緩和し、市民公開講座や地域住民への健康教室の開催、中高生のインターンシップの受入れなど、患者や地域住民と対面で関わる様々な活動にも取り組むことができました。看護部では、院外での看護研究発表や資格取得のほか、看護業務内容およびマニュアルの見直しを行い、より実践可能な体制を整備し、安全で安心できる看護の提供に努めてまいりました。

2040年を見据えた社会保障制度の在り方では、「誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現」が示されています。地域住民の健康増進や切れ目のない質の高い医療の提供に向けて、医療分野のデジタル化を進め、保健・医療情報の利活用の積極的な推進は重要となってきます。常に将来を見据えて、これから先の働き方や病院のあるべき姿を考え、柔軟な発想で医療・看護の提供に努めてまいります。

看護部理念である「患者様に寄り添った思いやりのある看護を提供します」は看護の原点です。どのような場面においても、また患者様だけでなく、患者様のご家族や地域の方々などあらゆる対象においても「寄り添い、思いやり」を持って良好な人間関係を築き、支援していきたいと考えております。

2024年も何卒よろしくお願いいたします。



2023年の振り返り

3病院研修

毎年開催されている他県の病院との研修「3病院研修」が大阪で開催されました。

今回は、経営部門、看護部門、事務部門の3部門のみの開催となりました。この研修会は、同じ整形外科の病院で、細かいデータまで提示しながらそれぞれの課題・改善策などを意見交換していきますので、とても貴重な機会となっています。今年は熊本で全部門での開催になりますので、より良い研修が開催できるように目指していききたいと思います。



市民公開講座

11月26日（日）、5年ぶりとなる市民公開講座を開催いたしました。

今回は『腰・ひざの痛みとしびれ』をテーマに当院の医師が講演を行いました。内容は「腰部脊柱管狭窄症（藤本院長）」「骨粗鬆症・圧迫骨折（尾崎医師）」「変形性膝関節症（林田関節外科部長）」で、多くの方が悩まれていることについてお話ししました。当日は、255名の方にご参加いただき皆様とても真剣に聴講頂き、少しでもお役に立てたのではないかと感じています。

そして健康チェックコーナーでは、看護師、薬剤師、栄養士などが骨密度検査や血管年齢測定、お薬相談・栄養相談などを開催し、こちらも多くの方にご来場いただきました。

今回の講演の内容は、当院ホームページまたはKKTのメディテレホームページでご視聴いただけますので是非ご覧ください。



藤本院長



尾崎医師



林田関節外科部長



学会発表

成尾 政一郎（医師・理事長）

20歳未満に対する椎間板内酵素注入療法の検討
（第146回 西日本整形災害外科学会）

田畑 聖吾（医師・脊椎脊髄外科部長）

Bertolitti症候群についての検討
（第52回 日本脊椎脊髄病学会） 他 12演題

坂本 祐史（医師）

非結核性抗菌症による脊椎炎に対し外科的治療を行った1例
（第38回 日本脊髄外科学会） 他 3演題

尾崎 友則（医師）

ヒトロビン含有ゼラチン使用吸収性局所止血剤は
脊椎低侵襲手術において術後ドレージ量減少に有効である
（第13回 最小侵襲脊椎治療学会）他 4演題

寺本 美由紀（看護師・副看護部長）

手術室機材管理の現状と課題/教育体制の変化と展望

鈴木 明日香（看護師）

しびれの評価スケール導入への取り組み
（医療法人協会看護部長会 看護研究発表会）

澤村 拓朗（理学療法士・主任）

職場におけるコミュニケーションの意識調査
（第64回全日本病院学会） 他1演題

東家 翔平（理学療法士）

椎体骨折における経皮的椎体形成術後と
保存加療の床離期間と在院日数の比較
（九州理学療法士学術大会2023）

上原 千佳（クラーク）

医師の働き方改革に伴うクラークの助力
（日本医師事務作業補助者協会 第12回学術集会）

リレーマラソン



午 厚紙

熊日にゴールの瞬間が掲載されました！



熊本リレーマラソン

女性 男性 一般



イベント行事参加



新型コロナウイルス感染症が5類移行し、様々なイベントにも参加するようになりました。以前から当院ではサークル活動が活発に行われており、職員のリフレッシュや団結力が向上できる良い機会だと考えています。働く職員がいつも健康であることで、良い医療の提供に繋がることも期待しています。

病院対抗
フットサル



病院対抗
ソフト
ボール



4年ぶりの大忘年会

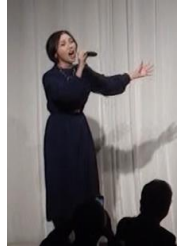
帰ってきました！



4年ぶりとなる大忘年会を開催しました。この1年だけではなく、コロナ対策で頑張って頂いた職員、そして日頃からお世話になっている関係者の皆様もお迎えし、以前にも増した忘年会となりました。

内容も盛り沢山となり、参加された皆様にもとても楽しんでいただけたのではないかと思います。

2024年も職員一同団結し、診療に取り組んでまいります。



お知らせ

2024年3月以降の**外来診察担当**につきまして、**変更**の予定となっております。医療機関からのご紹介・受診の際はお問い合わせください。

(詳細が決まりましたらホームページにも掲載いたします)



〒862-0958 熊本県熊本市中央区岡田町12-24
TEL 096-371-1188 FAX 096-366-9923

